



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月9日

上場会社名 Unipos株式会社 上場取引所 東
コード番号 6550 URL <https://www.unipos.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 田中 弦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 東山 友 TEL 03-6773-5038
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 678 | 15.5 | △452 | — | △444 | — | △444 | — |
| 2023年3月期第3四半期 | 587 | — | △778 | — | △777 | — | △710 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | △34.22 | — |
| 2023年3月期第3四半期 | △54.87 | — |

- (注) 1. 当社は、2022年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2023年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 1,385 | 558 | 39.8 |
| 2023年3月期 | 1,835 | 999 | 54.2 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 551百万円 2023年3月期 995百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年3月期 (予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 973 | 21.1 | △614 | — | △620 | — | △624 | — | △48.01 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期3Q | 13,014,600株 | 2023年3月期 | 12,996,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 12,176株 | 2023年3月期 | 12,176株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年3月期3Q | 13,002,097株 | 2023年3月期3Q | 12,955,573株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 4 |
| 第3四半期累計期間 | 4 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 5 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 5 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 5 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 5 |
| (セグメント情報等) | 5 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の売上高は678,792千円（前年同期比増15.5%）となりました。利益面では、営業損失は452,002千円（前年同期は営業損失778,431千円）、経常損失は444,323千円（前年同期は経常損失777,123千円）、四半期純損失は444,890千円（前年同期は四半期純損失710,894千円）となりました。

Unipos事業において、当第3四半期累計期間の売上高は前年同四半期累計期間比で99百万円増となり、ストック売上高（継続課金対象となる月額料金）は前年同四半期累計期間比で101百万円増となっております。かかる売上成長の背景としては、新規で利用を開始した顧客による売上増加分に加え、既に利用開始済みながら一部のご利用に留まっていた顧客内でも利用拡大が進んだこと、当第3四半期よりUniposシステム利用料金の価格改定を行ったことなどにより、売上高を順調に積み上げることができていることが理由であります。

また、コスト面においては前期、前々期より進めております固定費を含めた各種コストの削減効果が継続的に出ており、オフィスの移転・縮小により家賃関連費用の定常的かつ大幅な抑制、事業規模を踏まえた組織体制の見直しを行ってまいりました。当第3四半期累計期間における人件費関連の費用の削減、効果的・効率的なマーケティング施策の取捨選択により成長投資の費用の削減など、当社の財務健全化に向けた各種コスト削減施策により前年同四半期累計期間比では約235百万円のコストを削減いたしました。さらなる事業成長に向けて第4四半期以降も成長投資を実施するとともに、引き続き費用対効果に注視し、より投資効果の高い自社イベントなどの施策へ注力することで、継続的な顧客獲得を図ると同時に費用削減ができるものと見込んでおります。

経営成績においては、ストック売上高比率が89.0%となり90%を下回っておりますが、これはエンタープライズ企業向けの人的資本経営コンサルティング等の売上高が増加したことによるものであり、ストック売上高は継続して増加しております。ストック売上高という安定的な収益構造を含め売上高全体をクロスセルにより伸長させつつ、引き続き投資効果の高いマーケティング施策の実施と人件費も含めた固定費の通減させることによりコスト構造もより改善に向かうと見込んでおり、早期の決算黒字化へ繋がっていくものと考えております。

なお、当社はUnipos事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の財政状態の分析は、以下のとおりであります。

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は1,385,368千円となり、前事業年度末に比べ449,901千円減少いたしました。

流動資産は1,287,534千円となり、前事業年度末に比べ262,037千円減少いたしました。これは主として現金及び預金が247,957千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は97,833千円となり、前事業年度末に比べ187,863千円減少いたしました。これは主として敷金及び保証金が186,707千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は826,684千円となり、前事業年度末に比べ9,189千円減少いたしました。これは主としてその他流動負債が57,006千円増加し、未払金が7,784千円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が59,542千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は558,683千円となり、前事業年度末に比べ440,712千円減少いたしました。これは主として、四半期純損失444,890千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年5月12日の「2023年3月期通期決算説明資料」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社では新型コロナウイルス感染症による市況悪化の影響からは脱しつつあり、今後の業績への影響は軽微とみております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,320,634 | 1,072,676 |
| 売掛金 | 147,417 | 153,909 |
| 前払費用 | 57,732 | 52,742 |
| その他 | 24,224 | 8,651 |
| 貸倒引当金 | △436 | △446 |
| 流動資産合計 | 1,549,572 | 1,287,534 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 0 | 0 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 0 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 0 | 0 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 268,183 | 81,476 |
| その他 | 17,513 | 16,357 |
| 投資その他の資産合計 | 285,697 | 97,833 |
| 固定資産合計 | 285,697 | 97,833 |
| 資産合計 | 1,835,270 | 1,385,368 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1 | 1 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 84,936 | 89,096 |
| 未払金 | 71,837 | 64,052 |
| 未払法人税等 | 530 | 397 |
| 預り金 | 7,278 | 8,542 |
| その他 | 41,986 | 98,992 |
| 流動負債合計 | 206,569 | 261,082 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 629,304 | 565,602 |
| 固定負債合計 | 629,304 | 565,602 |
| 負債合計 | 835,873 | 826,684 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 50,730 | 51,180 |
| 資本剰余金 | 1,858,060 | 1,858,510 |
| 利益剰余金 | △913,257 | △1,358,147 |
| 自己株式 | △142 | △142 |
| 株主資本合計 | 995,390 | 551,400 |
| 新株予約権 | 4,005 | 7,283 |
| 純資産合計 | 999,396 | 558,683 |
| 負債純資産合計 | 1,835,270 | 1,385,368 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 587,489 | 678,792 |
| 売上原価 | 243,003 | 205,500 |
| 売上総利益 | 344,485 | 473,292 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,122,916 | 925,294 |
| 営業損失(△) | △778,431 | △452,002 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 80 | 71 |
| 雑収入 | 5,374 | 11,571 |
| 営業外収益合計 | 5,455 | 11,642 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,068 | 2,925 |
| その他 | 78 | 1,037 |
| 営業外費用合計 | 4,147 | 3,963 |
| 経常損失(△) | △777,123 | △444,323 |
| 特別利益 | | |
| 自己新株予約権消却益 | 22,958 | — |
| 移転補償金 | 44,989 | — |
| 特別利益合計 | 67,948 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 168 |
| 固定資産除却損 | — | 0 |
| 特別損失合計 | — | 168 |
| 税引前四半期純損失(△) | △709,174 | △444,491 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,719 | 398 |
| 法人税等合計 | 1,719 | 398 |
| 四半期純損失(△) | △710,894 | △444,890 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、Unipos事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。